

事業番号	15 08 01	事業改善シート（令和4年度実施事業分）		<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	社会教育振興事業費	部局	教育委員会事務局	課・室	文化財・生涯学習課		
		実施期間	S24 ~	E-mail	bunsho@pref.nagano.lg.jp		
総合5か年計画（しあわせ信州創造プラン2.0）との対応関係							
重点目標							
総合的に展開する重点政策	1-4 生涯を通じて学べる環境の整備						

### 1 現状と課題

<ul style="list-style-type: none"> <li>・信州型コミュニティスクール※において、ボランティアに参加する地域住民の数はコロナ禍等により減少傾向にある。多様で持続可能な協働活動にしていくためにもボランティアのネットワーク化が必要。（※学校運営参画、協働活動、学校評価を一体的・持続的に実施する仕組み）</li> <li>・放課後子ども教室・地域未来塾について、少子高齢化やコロナ禍を背景に登録児童生徒数の減少が見られるが、特別な配慮を要する子どもへの対応が課題となっている。また、コロナ禍における体験活動への工夫が求められる。</li> <li>・公民館職員のスキルアップにつながる取組の拡充が必要。</li> </ul>
--

### 2 事業目的

<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校と地域の連携・協働により社会全体で子どもたちが良質で多様な学びの機会を享受できるようにする。</li> <li>・県民が生涯学び続け、地域の課題解決を主体的に担う力を身に付けられるようにする。</li> </ul>
---

### 3 予算のポイント・主な取組（当初予算又は補正予算時の実施予定）

<p>①信州型CSの取組内容の充実に向けた支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学社連携・協働意見交換会（県内7箇所）を開催し、学校・地域の関係者の連携を促進</li> <li>・CSアドバイザーによる研修や訪問相談等を活用した好事例の収集及び情報発信</li> </ul> <p>②新・放課後子ども総合プランの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・放課後子ども教室及び地域未来塾を実施する市町村に対して運営費を補助</li> <li>・新・放課後子ども総合プラン合同研修会の開催（県内4箇所）</li> </ul> <p>③地域づくりにつながる公民館の活動を支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公民館関係者の研修や情報発信（生涯学習推進センター事業、公民館運営協議会委託事業）を通じ、公民館の活性化及び組織と活動の強化を支援</li> <li>・公民館の学びの活動成果を、学びと自治の観点から評価、顕彰することにより、好事例の他地域への広がり期待し、公民館活動の一層の活性化を促進（公民館活動アワード・フォーラム）</li> </ul>
--

### 4 成果指標

（推移の凡例 ↗：改善 ↘：悪化 →：変化なし —：数値なし）

No.	指標名	単位	R2年度		R3年度		R4年度		R4年度 目標値	達成 状況	設定理由
			実績	実績	推移	実績	推移				
①	学校に関わる地域ボランティア参加数	人	34,741	32,528	↘	29,991	↘	35,000	未達成	学校と地域の連携・協働にはボランティア参加が不可欠である。少子化による活動の減少が見込まれるため、現状を維持する人数を目標値とした。	
②	「コミュニティスクール等の仕組みを活かして地域の人と協働活動を行った」と答える小学校の割合	%	100	100	→	100	→	100	達成	学校と地域との連携協働を確認するため、現状を維持する数値を目標に設定。	
③	「コミュニティスクール等の仕組みを活かして地域の人と協働活動を行った」と答える中学校の割合	%	100	100	→	100	→	100	達成	学校と地域との連携協働を確認するため、現状を維持する数値を目標に設定。	
④	放課後等体験・学習支援事業（子ども教室等）登録児童生徒数	人	8,908	8,140	↘	8,497	↗	9,600	未達成	支援事業の波及状況を確認するため、少子化を踏まえ、導入市町村や教室数の増を考慮して目標を設定。	
⑤	P T A 指導者研修参加者満足度	%	85	86	↗	87	↗	85	達成	参加者足度を確認することで研修内容について検証するため、概ね8割が満足する数値を目標に設定。	

### 5 事業コスト

（単位：千円、人）

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 (予算現額)	うち一般財源		
R4年度	0	27,007	0	27,007	17,455	22,282	5.5
R3年度	0	26,522	0	26,522	16,198	21,765	5.5
R2年度	0	27,946	△ 230	27,716	17,021	23,484	5.5

事業番号	15 08 01	事業改善シート（令和4年度実施事業分）	□当初要求	□当初予算案	□補正予算案	■点検
事業名	社会教育振興事業費		部局	教育委員会事務局	課・室	文化財・生涯学習課

## 6 主な取組実績と成果

<p><b>①信州型CSの取組内容の充実に向けた支援</b></p> <p>学社連携・協働意見交換会、コーディネーター研修会を開催 13ヶ所 延べ参加人数936人。オンラインから参集型の会合が増加。互いに意見交換できる場を設けた。</p> <p>信州型CSアドバイザー派遣26ヶ所、延べ派遣人数41名。市町村教育委員会、学校、公民館など幅広い対象からの要望に応え研修会等の講師を行った。地域と学校の連携・協働がなぜ今重要なのかを周知した。</p> <p><b>②放課後子ども総合プランの推進</b></p> <p>・放課後子ども教室推進事業(中核市である長野市・松本市を除く県補助金事業) について、登録児童生徒数は8,497人となり、前年度から357人増加した(前年比104.4%)。</p> <p><b>③地域づくりにつながる公民館の活動を支援</b></p> <p>・公民館関係者の研修について、公民館長研修会、公民館主事研修会、公民館報関係者研修会(以上各1回)、公民館職員支援講座(4回)を実施。</p> <p>・公民館活動アワードフォーラムについて、受賞団体は平瀬古城会(松本市島内公民館)、東御市中央公民館、豊丘村公民館の3団体。</p>
--

## 7 成果指標の達成状況に関する要因分析

指標①	学校に関わる地域ボランティア参加数	R3年度推移	↘	R4年度推移	↘	達成状況	未達成
地域学校協働活動の見直しやコロナの影響等による、参加機会自体の減少が要因として考えられる。							
指標②	「コミュニティスクール等の仕組みを活かして地域の人と協働活動を行った」と答える小学校の割合	R3年度推移	→	R4年度推移	→	達成状況	達成
信州型コミュニティスクールの導入は100%であり、仕組みを活かした協働活動が行われている。今後は、内容の吟味、ボランティアの高齢化・固定化といった課題に対してもアプローチをしていきたい							
指標③	「コミュニティスクール等の仕組みを活かして地域の人と協働活動を行った」と答える中学校の割合	R3年度推移	→	R4年度推移	→	達成状況	達成
信州型コミュニティスクールの導入は100%であり、仕組みを活かした協働活動が行われている。今後は、内容の吟味、ボランティアの高齢化・固定化といった課題に対してもアプローチをしていきたい							
指標④	放課後等体験・学習支援事業(子ども教室等)登録児童生徒数	R3年度推移	↘	R4年度推移	↗	達成状況	未達成
登録児童生徒数についてはコロナの制限緩和があったため、前年度を上回る357人増(前年比104.4%)となったが、子ども教室等の中止を余儀なくされる状況(感染拡大)もあり、目標値の9,600人には届かなかった。							
指標⑤	P T A 指導者研修参加者満足度	R3年度推移	↗	R4年度推移	↗	達成状況	達成
コロナの影響によるオンラインでの実施について、参加者からは参加のしやすさや双方向性による対話の機会増など好評であったことから、目標を上回る満足度が得られた。この成果は、参集型の実施にも生かしていきたい。							

## 8 今後の事業の方向性

(1) 令和4年度の実績、成果指標の分析及び県民の意見等を踏まえた課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域学校協働活動の充実を目指し、ボランティアが当事者意識をもってかかわれるような仕組みや方法を考えていく必要がある。</li> <li>・新・放課後子ども総合プランの推進については、新型コロナウイルスへの感染症対策・規制緩和により登録児童生徒数の増加が見られ、コロナ禍前の状況に戻つつあるが、その一方で特別な配慮を要する子どもへの対応等については継続した課題となっている。</li> <li>・公民館関係者の研修については、公民館の果たすべき役割を常に模索しながら、公民館のニーズや課題に応えられる研修内容が課題となっている。</li> </ul>
(2) 翌年度以降の事業改善の方策
<ul style="list-style-type: none"> <li>・信州型コミュニティスクールの促進においては、好事例の発信、現状の課題把握と解決策を検討していく。</li> <li>・新・放課後子ども総合プランの推進については、合同研修会を活用することで配慮を要する子どもへの対応等の課題の共有・情報交換を図り、推進委員会により事業の検証・評価を議論していく。</li> <li>・公民館関係者の研修については、公民館運営協議会と情報交換を図り、研修内容を検討する。</li> </ul>

事業名	社会教育振興事業費	部局	教育委員会事務局	課・室	文化財・生涯学習課
-----	-----------	----	----------	-----	-----------

細事業 No.	細事業名	R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
1	学校と地域の連携推進事業費	19,592 千円	17,702 千円	17,926 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	信州型コミュニティスクール促進事業	直接	・学社連携・協働意見交換会やコーディネーター研修会等を開催し、学校と地域の幅広い連携協働を促進するとともに、組織や活動に関する好事例の紹介や情報交換等を実施。 ・信州型CSアドバイザーを学校や市町村教育委員会へ派遣して、研修や相談等を通じて活動充実にに向けた支援を行い、好事例の収集・発信を実施。 アドバイザー派遣 26回、コーディネーター研修会（7箇所） 学者連携意見交換会（6箇所）、信州型CS促進委員会（2回）	
2	放課後等体験・学習支援事業（新・放課後子どもプラン推進委員会の開催、協働活動支援員等の研修会の開催）	直接	放課後子ども教室と放課後児童クラブが、小学校区毎に一体的又は連携して実施される総合的な放課後対策事業（新・放課後子ども総合プラン）を推進するとともに、「放課後子ども総合プラン」に関わるコーディネーターや協働活動支援員、協働活動サポーター、児童クラブ指導員等の資質向上、情報交換・情報共有のために合同研修会を開催。 協働支援員等の合同研修会の開催4回	
3	放課後等体験・学習支援事業（放課後子ども教室、地域未来塾に対する補助金）	補助金	・放課後等に子どもたちの安全・安心な居場所を設け、子どもたちと地域住民との交流活動等に取り組む市町村を支援（放課後子ども教室補助金）。 ・地域コーディネーターが核となって、地域住民の協力による学習支援を実施する市町村を支援（地域未来塾補助金）。 放課後子ども教室35件、補助総額13,035千円、地域未来塾22件、補助総額4,227千円	

細事業 No.	細事業名	R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
2	生涯学習振興費	341 千円	709 千円	569 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	社会教育委員会議、生涯学習審議会の開催	直接	県内の社会教育・生涯学習の推進状況を把握し、県事業の評価・検証をするとともに、県の社会教育・生涯学習振興に関する意見交換、意見聴取を実施。 社会教育委員会議開催1回、生涯学習審議会2回（教育長への提言）	
2	P T A 指導者研修事業	直接	P T A 指導者を対象に、社会教育団体としてのP T A 活動のあり方を研修し、その資質の向上並びにP T A 活動の振興を図る。 研修会開催 義務8回、高校4回	
3	公民館活動アワード・フォーラム事業	直接	地域づくりの取組につながる公民館の学びの活動成果を、学びと自治の観点から評価、顕彰することにより、活動・事業や地域そのものが持つ価値の見える化、事例の他地域への広がり期待し、公民館活動の一層の活性化を支える。 アワード・フォーラム開催 1回	

細事業 No.	細事業名	R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
3	生涯学習総務費	3,551 千円	3,354 千円	3,787 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	公民館運営事業支援委託	委託	県内公民館関係者の力量向上、公民館の活性化及び組織と活動の強化のための事業を長野県公民館運営協議会に委託 公民館長研修会・公民館主事研修会・公民館報関係者研修会・長野県公民館大会年1回、公民館職員支援講座オンライン4回	